

平成27年 臨時（第7回）大分市教育委員会会議録

1. 日 時 平成27年7月23日(木)
午前9時04分～午前10時56分
2. 場 所 大分市役所第2庁舎6階 教育委員室
3. 出席者 教育長 三浦 享二
一番委員 角山 光邦
二番委員 小林 達也
四番委員 上杉 美穂子
4. 出席事務局職員
- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| 教育部長 | 澁谷 有郎 | 教育部教育監 | 江藤 郁 |
| 教育部次長 | 後藤 芳史 | 教育総務課長 | 佐藤 雅昭 |
| 学校教育課長 | 御手洗 功 | 教育総務課参事 | 糸長 隆 |
| 学校教育課参事 | 佐藤 浩介 | 教育総務課参事補 | 清水 昭男 |
| 学校教育課参事補 | 佐藤 義仁 | | |

5. 書記

教育総務課参事補 三原 徹 教育総務課主任 松下 明史

6. 傍聴人 なし

7. 議題

(1) 議案審議

(教議第38号) 教育委員会事務局職員の処分について

(教議第39号) 平成28年度使用教科用図書の採択について

8. 会議の概要

教育総務課長 教育委員会開会前にご報告がございます。

本日の会議の出席者は大久保委員が欠席のため4名ですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、構成員の過半数が出席されていますので会議は成立していることをご報告いたします。

教育長 それでは、ただいまより、平成27年臨時（第7回）大分市教育委員会を開会いたします。 (午前9時04分 開会)

教育長 会議に先立ち署名委員を1番委員、2番委員お願いします。

それでは、ただ今より議案審議に入りますが、教議第38号「教育委員会事務局職員の処分について」につきましては、人事に関する案件であることから、秘密会が相当と思われれます。

また、教議第39号「平成28年度使用教科用図書の採択について」ですが、各委員もご承知のとおり、本採決に当たっては、義務教育諸学校の教科

用図書の無償措置に関する法律第12条第1項の規定に基づき、県教育委員会が県内の採択地区を設定し、単独または地区内の市町村が共同で採択を行っているところであります。

大分市におきましては、平成22年度から本市での単独採択になりましたことから、大分市教科用図書選定委員会を設置し、調査研究員会において種目ごとの教科用図書の調査研究を行ってまいりました。そして、先般開催されました大分市教科用図書選定委員会において、調査研究報告をもとに協議し、各種目1種類または2種類の教科用図書が選定されました。

これを受け、本日の教育委員会で採択を行うことになっておりますが、本議案審議につきましては、採択における意思形成過程でありますことから、秘密会が相当と思われれます。

以上のことから、教議第38号及び教議第39号の審議を秘密会とすることを発議いたしますが、賛成の方は挙手をお願いします。

全委員
教育長

(挙手)

全委員賛成と認め、教議第38号及び教議第39号の議案の審議は秘密会とします。

(教議第38号について審議した結果、原案のとおり決定する。)

教育長

それでは次に、教議第39号「平成28年度使用教科用図書の採択について」を議題といたします。事務局、説明をお願いします。

学校教育課長

議案説明の前に教科書展示期間中に寄せられましたアンケートに記載された意見についてご報告させていただきます。

記載内容につきましては、原文のまま掲載しております。なお、この中には、個人の意見として個々の発行者名を挙げて採択についての意見が記入されているものもございます。教科書採択は、外部の意見等に左右されることなく、静ひつな環境の中で政治的中立性や公正・公平を保ち、適正に行われなければなりませんので、個別にご説明はいたしません、こういった意見があったということでご報告をさせていただきます。

それでは、教議第39号「平成28年度使用教科用図書の採択について」ご説明申し上げます。

教科書は、教育計画の安定等を考慮し、4年間同一のものを使用することになっております。小学校においては平成26年度、中学校においては平成23年度に採択替えが行われたところでありますが、今年度は、中学校で使用する15種目の教科書を採択することになっております。

委員の皆様におかれましては、教科書採択に係る手続きの確認、また、勉強会等を通し、対象となる教科書見本本を研究していただいたところであ

ります。

本日は、調査研究員会で作成し、7月21日（火）及び22日（水）の大分市教科用図書選定委員会において報告されました資料を配布しております。選定委員会では、まず、種目ごとに調査研究員が全ての教科書の特長を報告し、質疑・協議の後、大分市の子どもたちに最もふさわしいと考えた各種目1種類または2種類の教科書を選定いたしました。

それでは、選定委員会で選定された教科書の特長について、具体例をお示ししながら説明させていただきます。

まず、国語でございます。

国語は5発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについて報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「光村図書出版」を次のような理由で選定することとなりました。

①全体の教材数が多く、領域がバランスよく構成されており、特に大分市の生徒の課題である「書くこと」の領域についても高い比重が置かれていること、②小中の連携がスムーズに行われるように配慮したプレ単元が設定されていること、③東日本大震災やメディアリテラシーに関する今日的課題を意識した説明的文章等がすべての学年に取り入れられていることなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

「書くこと」の学習については、1学年の36ページの「わかりやすく説明しよう」、2学年の34ページの「多様な方法で情報を集めよう」、3学年の54ページの「魅力的な紙面を作ろう」などの教材を通し、「書くこと」の基礎・基本の習得はもとより、目的や意図に応じて情報を収集・整理し、根拠をもとに自分の考えを表現する力が身に付くよう配慮されています。

また、プレ単元の設定については、1学年の第1単元の前に「言葉に出会うために」というミニ単元が設定されており、小学校の学習とのつながりを子どもが意識できるように工夫されています。

今日的課題を意識した教材については、1学年の60ページの「情報の集め方を知ろう」、2学年の56ページの「メディアと上手に付き合うために」など、東日本大震災に関連する教材も各学年に配置し、子どもたちの身近な話題に取材した教材を通して系統的に言葉の力が身に付くよう配慮されています。

なお、現在使用しているのは「光村図書出版」ですが、今回もたゞいま説明いたしましたような理由から「光村図書出版」の教科書が大分市の中学生を指導するのに最適ということになりました。

次に、書写について、説明させていただきます。

書写は5発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「光村図書出版」を次のような理由で選定することとなりました。

①学習指導要領の指導内容がバランスよく配置され、楷書から行書への学習が段階的に学べるようになっていること、②日常生活の中で取り組める内容や生涯に亘って役立つ資料が豊富に掲載されていること、③説明が詳しいことなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

①楷書から行書への学習が段階的に学べるよう、第1学年では、「楷書と行書の比較」から「点画の方向や形の変化」、「点画の連続」へ、第2学年では、より発展的な「点画の省略」、「筆順の変化」へ、第3学年では、「目的に応じて効果的に書く」というように、学年に応じた構成になっております。

②手紙やはがき、原稿用紙など日常生活や学校生活で使われる書式はもちろん、願書やのし袋、宅配便の送り状など生涯に亘り役立つ内容が掲載されており、書写の日常化につなげやすくなっております。

③書くときの正しい姿勢を正面と横の2方向から写真で具体的に示したり、用具、点画の名称、穂先の動きなどを詳しく説明したりしております。

なお、現在使用しているのは「光村図書出版」ですが、今回もたまたま説明いたしましたような理由から「光村図書出版」の教科書が大分市の中学生を指導するのに最適ということになりました。

以上でございます。

教育長

国語及び書写については、どちらも「光村図書出版」の教科書が選ばれておりますが、委員の皆様から意見等があればお願いいたします。

全委員

(なしとの声)

教育長

それではまず、国語についてですが、「光村図書出版」を選定するということがよろしいでしょうか。

全委員

(異議なしとの声)

教育長

反対意見もないようですので、国語については「光村図書出版」を選定することといたします。

教育長

次に、書写について、「光村図書出版」を選定するということがよろしいでしょうか。

全委員

(異議なしとの声)

教育長

反対意見もないようですので、書写についても「光村図書出版」を選定することといたします。

- 教育長 次に、社会科でございますが、まず地図について説明をお願いします。
- 学校教育課長 それでは、社会科の地図について説明させていただきます。
- 地図は、「東京書籍」と「帝国書院」の2発行者から見本本の送付がございましたので、その両者についての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて最終的に「東京書籍」を次のような理由で選定することとなりました。
- ①近隣諸国との関係が分かりやすく理解できる構成になっていること、②巻末の各資料がグラフと数字資料を分かりやすく構成していること、③日本の周辺地域について分かりやすく構成されていること、④地図上の情報が精選されており、落ち着いた配色で構成されていることなどです。
- 具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。
- 隣接する大陸圏が見開き縦で構成され、ヨーロッパとアフリカ、アジアとオセアニアなど近隣諸国との関係が分かりやすく理解できる構成になっています。また、地図上の情報量が精選され、全体がカラーユニバーサルデザインの落ち着いた色調で統一されています。
- なお、現在使用しているのは「帝国書院」ですが、今回はただ今ご説明いたしましたような理由から「東京書籍」の教科書が大分市の中学生を指導するのに最適であるということになりました。
- 以上でございます。
- 教育長 情報量、見やすさという面でそれぞれ特長があるようですが、意見があればお願いします。
- 委員 現在使用しているのは「帝国書院」ということですが、使用している中で支障があるといった声はありますか。
- 学校教育課長 全てを把握しているわけではございませんが、そういった報告は受けておりません。ただ、地図に関しては、ニュース等で出た地名を調べるといった発展的な学習で使用することも多く、そういった際には、ある程度の情報量は必要になるかと思います。
- 委員 選定委員会では、見やすさを重視して「東京書籍」が選定されましたが、「帝国書院」の方が地図上の情報量が多く、将来的にも使用できる作りになっておりますので、「帝国書院」もいいのではないかと思います。
- 委員 確かに調べたい地名が地図にないとなると支障があるので、情報量が多い方がいいですね。
- 教育長 現在使用していて特段支障がないこと、情報量が多く将来的にも使用できるという点から「帝国書院」の方が適しているとの意見がありますが、他にご意見等はございませんか。
- 全委員 (なしとの声)

教育長 反対意見もないようですので、地図については「帝国書院」を選定することといたします。

教育長 次に、地理の説明をお願いします。

学校教育課長 それでは、地理的分野について説明させていただきます。

地理的分野は4発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「東京書籍」、「教育出版」を次のような理由で選定することとなりました。

①1単位時間や単元のまとめに設定された思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題が多いこと、②グラフや写真等の資料が充実しており、説明が平易でわかりやすいことなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

「東京書籍」については、42ページにございますように、各単元の「確認コーナー」に単元の課題に対して地図や統計資料を用いた内容がまとめられていたり、単元全体を通じた文章表現を求めた設問が準備されているなど、適切に配置されております。また、11ページ、14ページなどがございますように、小学校で学んだ内容を踏襲させるため、「地理スキルアップ」を設け、地図帳での索引の仕方や資料の使い方などが系統的に学べるように工夫されています。

「教育出版」については、24ページ、44ページにございますように、見開き2ページに1単位時間ごとの学習課題をわかりやすく提示するとともに、右下の「ふりかえる」により、2つの視点で学習のまとめができるよう構成されています。また、89ページ、129ページなどに「地理の窓」という最新の話題を豊富に取り上げた学習コラムを掲載し、授業の導入等にいかし、学習課題に対する興味・関心が広がるよう工夫されています。

なお、現在使用しているのは「教育出版」ですが、今回はただいま説明いたしましたような理由から、大分市の中学生を指導するのに適した教科書として、「東京書籍」、「教育出版」の2者が選定されました。

以上でございます。

教育長 4者中2者を選定しているという状況でございますが、何か意見等はございませんか。

委員 どちらもいいように感じますが、それぞれの特長をもう一度説明してください。

学校教育課長 「東京書籍」については、42ページにあります「確認コーナー」等で子どもたちが表現力をみがくこともできる作りになっていること、「教育出版」については、89ページにあります「地理の窓」等で最新の話題を取り上げ

ており、子どもたちが発展的に学習できる作りになっており、学習に対する関心が広がるよう工夫されております。

委員 地理は暗記の教科というイメージがありますが、最新的话题を取り上げるなど、子どもたちが関心を持って意欲的に取り組める作りになっている「教育出版」の方がより適しているように感じます。

委員 そうですね。いいと思います。

教育長 現在使用しているのも「教育出版」でありますし、他に反対意見等がなければ地理的分野については「教育出版」を選定したいと思いますのですがよろしいでしょうか。

全委員 (異議なしとの声)

教育長 反対意見もないようですので、地理的分野については「教育出版」を選定することといたします。

教育長 次に、歴史的分野について説明をお願いします。

学校教育課長 それでは、歴史的分野について説明させていただきます。

歴史的分野は8発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、「東京書籍」と「帝国書院」の2発行者を次のような理由で選定することとなりました。

①各章の導入のページでは、小学校の学習内容が掲載され、小中学校の接続が強く意識されていること、②1単位時間において、習得させたい知識や概念を明確に示すとともに言語活動を重視していること、③章末において、これまで学んだ時代を大きくとらえ、次の章の時代の学習につながりやすい工夫をしていることなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

「東京書籍」については、20ページ、60ページなどにありますように、各章の導入において各時代を象徴する人物や建造物の資料を掲載し、小学校での学習を想起させる工夫がされています。また、50ページ、51ページなどにありますように、見開き2ページに課題と振り返りが「説明すること」を中心に配置され、1単位時間の学習内容を言語活動を取り入れてまとめられるようになっております。また、96ページ、97ページなどにありますように、章から章へのつながりを理解しやすくするために、章末と次の章の始まりを見開きで年表をつなげて分かりやすく示しています。

「帝国書院」については、20ページ、21ページにありますように、各章の導入に「タイムトラベル」があり、イラストに描かれている事柄を読み取ることで各時代の特色を概観できるようにしています。また、32ページ、33ページなどにありますように、見開き2ページに1単位時間ごとの「学

習課題」とそれに対応した「確認しよう」「説明しよう」が示されており、2段階のふり返りにより、学習内容をつかみやすくする工夫がされています。また、各単元の最後に設定されている「学習を振り返ろう」では、年表完成や文章表現により、学習してきたことを整理し、各時代のまとめができるような設問の工夫がされています。

なお、現在使用しているのは「帝国書院」ですが、今回、ただいま説明いたしましたような理由から、大分市の中学生を指導するのに適した教科書として、「東京書籍」、「帝国書院」の2発行者が選定されました。

教育長 歴史的分野につきましても、2者を選定したということですが、何か意見等はございませんか。

委員 「帝国書院」の方が課題と振り返りの記述があり、見やすく感じますし、1単位時間をまとめやすいように感じますがどうでしょうか。

教育長 たしかに見やすい作りになっていますが、全ての単元において課題の提起がされており、それ以外の課題を提起しづらい面もあるかと思えます。

指導する側からみますと、導入部分が非常に重要になりますが、課題の提起が限定されてしまいますと、導入部分における工夫がしにくくなる可能性もあります。

委員 近代、現代の記述において、大きな差異はありますか。

学校教育課長 「帝国書院」、「東京書籍」の2者については大きな差異はございません。

委員 領土問題に関する部分については、「東京書籍」の方がより明確に記述されているように感じます。

教育長 記述内容に大きな違いはないようですが、ページ数は「東京書籍」の方が20ページほど多いようですね。

委員 先生が指導しやすく、子どもが関心を持って取り組める工夫のある教科書がいいと思いますが、調査研究員の報告を説明してください。

教育監 調査研究員からは選定委員会の場で、大分市の子どもの実態に即しているかといったことが重要であるとの報告がありました。お配りしております調査研究報告書の項目7「大分市の子どもの実態」で両者を比較しますと、「小中の接続が意識されたものになっている」、「興味・関心が引きやすく、課題に取り組みやすい工夫がある」といった記述がある「東京書籍」の方をより評価しているように感じます。

委員 よくわかりました。

教育長 他に何か意見等はございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは、小中の接続が意識され、より課題に取り組みやすい工夫がされ

ているということで、歴史的分野につきましては「東京書籍」を選定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

(異議なしとの声)

教育長

反対意見もないようですので、歴史的分野は「東京書籍」を選定することといたします。

教育長

次に、公民的分野の説明をお願いします。

学校教育課長

社会科の公民的分野について説明させていただきます。

公民的分野は、7発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、「東京書籍」と「帝国書院」の2発行者を次のような理由で選定することとなりました。

①導入から学習の振り返りまでの流れが見開き2ページで構成され、基礎的・基本的な知識や概念が確実に習得できること、②思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが適切に位置付けられていることなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

「東京書籍」については、88、89ページなどにありますように、見開き2ページで1単位時間の学習課題と理解の定着を図る設問が示されており、文字、文章、写真、表、解説などの資料の構成や配置のバランスが良く、見やすくなっています。また、72、73ページなどにありますように、各章の導入時に日常見聞きする身近な事象を取り上げ、生徒の興味・関心を高める教材が充実しており、意見交流等を通して、主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。

「帝国書院」については、18ページなどにありますように、導入で「クローズアップ」という写真入りのコラムが設けられ、生徒にとって身近で興味を引く内容のものが多く、1時間で学習する内容と実社会との関係について、実感を伴いながら学習できるように工夫されています。また、まとめは「確認しよう」、「説明しよう」の2段構成となっており、基礎・基本の定着を図る配慮がされています。また、43ページなどにありますように、「説明しよう」では本時の学習内容を活用して、思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられており、言語活動が毎時間繰り返し行えるよう工夫されています。

なお、現在使用しているのは「東京書籍」ですが、ただいま説明いたしましたような理由から、大分市の中学生を指導するのに適した教科書として、「東京書籍」、「帝国書院」の2者が選定されました。

以上でございます。

教育長

2者が選定されている状況ですが、ご意見等ございませんか。

委員 どちらもいいように感じますが、「東京書籍」の方が、資料の数が多く、また、地元教材も取り上げているようなので、こどもが取り組みやすいのではないのでしょうか。

委員 確かにそうですね。ちなみに、公民は何学年から始まるのでしょうか。

教育長 3学年の2学期から始まります。

委員 記述内容に大きな差異がないようであれば、資料の数が多「東京書籍」のほうがいいと思います。

教育長 他にご意見等なければ、公民的分野につきましては「東京書籍」を選定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員 (異議なしとの声)

教育長 反対意見もないようですので、公民的分野は「東京書籍」を選定することといたします。

教育長 それでは、次に数学の説明をお願いします。

学校教育課長 数学について説明させていただきます。

 数学は、7発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に、「数研出版」と「日本文教出版」の2発行者を次のような理由で選定することとなりました。

 ①生徒がつまずきやすい問題に対応した項目が充実していること、②基礎的・基本的な知識・技能の定着と数学的な活用力を育む学習を重視した構成であることなどです。

 具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

 「数研出版」については、1学年の37ページにありますように、例題と問いの間に生徒がつまずきやすい点についての注意書きがあるなど、細かい配慮が見られます。また、2学年の34ページにありますように、各単元末に「基本問題」「問題A B」「やってみよう」があり、基礎的・基本的事項の定着を図るとともに、活用力の育成が段階的に図れる構成となっております。また、巻末に「数学探検」のページを設け、生徒の数学への興味・関心を引き出す工夫が見られます。

 「日本文教出版」については、2学年の122ページにありますように、生徒が苦手とする証明のしくみが構図で示されていることや仮定と結論が単元を通じて同じ色で統一されていることなど、生徒にとって分かりやすい構成となっております。また、130ページにありますように、各単元末に「基本の問題」「くり返し練習」「たしかめ」「深める数学」などがあり、その単元の基礎的・基本的事項の定着と活用力を高める工夫が見られます。また、巻末の「数学マイトライ」の中の「数学研究室」では数学的な見方や考え方を深め、

数学と社会とのつながりに気付かせる題材が充実しています。

なお、現在使用しているのは、「新興出版社 啓林館」であります。今回はただいまご説明いたしましたような理由から、大分市の中学生を指導するのに適した教科書として、「数研出版」、「日本文教出版」の2者が選定されました。

以上でございます。

教育長 2者が選定されている状況ですが、2者とも全国学力テストのA問題、B問題への対応はされていますか。

学校教育課長 2者とも対応しているとの評価でございます。

委員 数学に関しては理解しやすいことが重要だと思いますが、調査研究員の評価を教えてください。

学校教育課長 問題の作り方という面で、補助教材等を多く扱っている「数研出版」への評価が高いようにありました。

委員 「数研出版」の方が例題と説明がシンプルながらわかりやすいですね。

委員 そうですね。シンプルでいいと思います。

教育長 他にご意見等なければ、数学につきましては「数研出版」を選定したいと思います。よろしいでしょうか。

全委員 (異議なしとの声)

教育長 反対意見もないようですので、数学は「数研出版」を選定することといたします。

教育長 それでは、次に理科の説明をお願いします。

学校教育課長 理科について説明させていただきます。

理科は、5発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通し、最終的に「大日本図書」を次のような理由で選定することとなりました。

①観察・実験の結果をもとに考察し、言語活動の充実を図りながら、原理や法則を探究する活動を重視した構成であること、②各単元の最後に「終章」を設け、単元の学びを活用し、主体的に課題を解決しながら思考力や表現力をはぐくむ学習活動を提起していること、③「トピック」「科学史」「くらしの中の理科」等科学に関する話題や生活とのかかわりが多く掲載され、理科教育の有用性が示されていることなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

2学年の181ページの実験4にありますように、「結果を表にまとめる」「表をグラフにする」「結果からわかること」の流れでまとめられ、表やグラフを利用して、法則を導く手順が工夫されております。また、2学年の7

4 ページ終章にありますように、習得した知識・技能を活用し、結果分析、討論、発表など、主体的に課題を解決する学習活動の構成となっております。また、2 学年の 153 ページにあります「くらしの中の理科」においては、衣類についた汚れ等をよりきれいに落とすために洗剤に酵素が含まれている例が紹介され、日常生活の中における理科の有用性が示されております。

なお、現在使用している教科書も「大日本図書」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から、今回も「大日本図書」の教科書が大分市の中学生に最適であるということになりました。

以上でございます。

教育長
委員

ありがとうございます。何かご意見等ございませんか。

「大日本図書」については、実験をして終わりではなく、実験後の考察がしやすいように工夫されているように感じます。

委員

理科も数学と同じで先生が指導しやすい方がいいと思うので、選定委員会で選定された「大日本図書」がいいのではないのでしょうか。

教育長

他にご意見等なければ、理科につきましては「大日本図書」を選定したいと思いますですが、よろしいでしょうか。

全委員
教育長

(異議なしとの声)

反対意見もないようですので、理科は「大日本図書」を選定することといたします。

教育長

それでは、次に音楽の説明をお願いします。

学校教育課長

それではまず、音楽の一般について説明させていただきます。

音楽の一般は、「教育出版」と「教育芸術社」の 2 発行者から見本本の送付がございましたので、その両者についての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「教育芸術社」を次のような理由で選定することとなりました。

①単元構成、曲の選択、鑑賞教材など全てに亘って音楽の基礎・基本の定着を始め、歌う楽しさ、音楽の楽しさを追究していく展開となっていること、②生徒の発達の段階に応じ、学習意欲をもって取り組むことができる内容構成となっていること、③歌唱教材では「心の歌」として作詞者や作曲者の曲に込めた思いを大切にしている内容になっていることなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

中学生の音楽 1 の 70 ページ、71 ページにおいて、東日本大震災の復興を願って歌われ始めた曲を取り入れるなど、時代を反映した曲の選択がなされております。また、中学生の音楽 2・3 (上) 6 ページ 7 ページにおいて、音符や休符、リズムなどの学習にゲーム的な要素を取り入れており、生

徒が意欲的に学習に取り組みやすい展開となっております。

なお、現在使用している教科書も「教育芸術社」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から、今回も「教育芸術社」の教科書が大分市の中学生に最適であると思われまます。

続きまして、音楽の器楽合奏も「教育出版」と「教育芸術社」の2発行者から見本本の送付がございましたので、その両者についての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「教育芸術社」を次のような理由で選定することとなりました。

①色彩豊かなレイアウトで器楽の魅力を感じる演奏スタイルの写真や若手音楽家のコメントが多く掲載されるなど、音楽への興味・関心を高めるための有効な資料が充実していること、②楽器の構造・名称・奏法から独奏曲、アンサンブルへと発展する展開で、学習の流れが分かりやすく構成されていることなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

中学生の器楽の表紙裏の口絵1、口絵2において、箏、ギター、リコーダー、尺八の写真と説明があります。演奏家が若々しく身近に感じられ、明るい雰囲気構成されております。また、24ページでは、箏を始め、様々な和楽器の奏法を具体的な写真で示すなど、実技練習をしやすくする工夫がなされております。また、中学生の器楽の3ページからはリコーダー、24ページからは箏、38ページからは太鼓など、ステップを踏みながら表現活動を展開できるよう工夫されております。

なお、現在使用している教科書も「教育芸術社」であります。ただいまご説明いたしましたような理由から、今回も「教育芸術社」の教科書が大分市の中学生に最適であるということになりました。

以上でございます。

教育長

音楽の一般と器楽合奏でございますが、どちらも「教育芸術社」が選定されている状況でございます。何かご意見等はございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

調査研究報告書の項目7をみましても、大分市の子どもの実態に即しているとして「教育芸術社」の方がより評価されているようですし、特にご意見等ないようであれば、音楽の一般と器楽合奏については「教育芸術社」を選定するというところでよろしいでしょうか。

全委員

(異議なしとの声)

教育長

それでは、音楽の一般と器楽合奏については「教育芸術社」を選定することといたします。

教育長
学校教育課長

それでは次に美術の説明をお願いします。

美術について説明させていただきます。

美術につきましては、3発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じ、最終的に「日本文教出版」を次のような理由で選定することとなりました。

①基礎的・基本的事項、多様な表現、表現の深まりへと展開する題材構成で発達の段階や興味・関心を考慮した配列となっていること、②鑑賞資料については版の大きさをいかし、写真や作品が大きく鮮明に掲載され、絵の具の質感や筆のタッチ等がわかりやすいことなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

絵画の題材について、美術1の8ページ、9ページにおきまして、身近なものを観察し、特徴をとらえて表現することを学び、美術2・3（上）16ページ、17ページでは、心でとらえたイメージを様々な方法で表し、表現の幅を広げ、美術2・3（下）8ページ、9ページでは、想像力を働かせて自画像を描くなど、発達の段階に応じた表現方法や技法を段階的に取り入れた構成となっております。また、美術2・3（上）26ページなどの北斎の浮世絵作品は、和紙に印刷し、原寸大で掲載されております。また、その制作過程が「技法の資料」に掲載されていることから、学習のつながりを意図した指導が可能となっております。

なお、現在使用している教科書も「日本文教出版」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から、今回も「日本文教出版」の教科書が大分市の中学生に最適であるということになりました。

以上でございます。

教育長
全委員
教育長

何かご意見等はございませんか。

（なしとの声）

特にご意見等ないようであれば、美術については「日本文教出版」を選定するということによろしいでしょうか。

全委員
教育長
教育長

（異議なしとの声）

それでは、美術については「日本文教出版」を選定することといたします。

それでは次に保健体育の説明をお願いします。

学校教育課長

では、保健体育について説明させていただきます。

保健体育は、4発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「学研教育みらい」を次のような理由で選定することとなりました。

①内容を基礎・基本に厳選し、探究的な学習の流れを示しており、生徒が

主体的に取り組める内容となっていること、②事例や資料を多く掲載し、グループでの話し合い活動や課題解決学習に取り組みやすい構成となっていることなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

10ページ、12ページでは、単元・題材毎に「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」で構成され、主体的な学習が展開されるように工夫されております。また、57ページ、85ページなどにおいて、共生、福祉、ボランティア等について身近な課題から世界的課題まで、資料や写真などをもとに考察するとともに、日常生活に生かせるよう工夫されています。

なお、現在使用している教科書も「学研教育みらい」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から、今回も「学研教育みらい」の教科書が大分市の中学生に最適であるということになりました。

以上でございます。

教育長
全委員
教育長

何かご意見等はございませんか。

(なしとの声)

特にご意見等ないようであれば、保健体育については「学研教育みらい」を選定するというところでよろしいでしょうか。

全委員
教育長

(異議なしとの声)

それでは、保健体育については「学研教育みらい」を選定することといたします。

教育長
学校教育課長

それでは次に、技術・家庭の技術分野の説明をお願いします。

技術・家庭の技術分野について説明させていただきます。

技術分野は、3発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「開隆堂出版」を次のような理由で選定することとなりました。

①「参考」、「探究」等、生徒の参考となる資料や解説がとても多く、内容が充実しているとともに、「ふり返り」を設けることで、学習内容の定着に向けた工夫が図られていること、②情報モラルに関する学習内容が細分化されており、内容が充実していることなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

68ページから72ページなどにありますように、「参考」、「探究」等がとて多く示されており、それらの内容が充実しているとともに、自己評価による「ふり返り」を効果的に設けることで、学習内容の定着に向けた工夫が図られております。また、196ページから201ページには、情報モラルについて取り扱ったページが人権や知的財産の保護等の項目に細かく分け

られており、内容が充実しております。

なお、現在使用している教科書も「開隆堂出版」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から、今回も「開隆堂出版」の教科書が大分市の中学生に最適であるということになりました。

以上でございます。

教育長

技術分野につきましては、1者が選定されている状況です。

何かご意見等はございませんか。

全委員

(なしとの声)

教育長

特にないようであれば、技術分野については「開隆堂出版」を選定することによってよろしいでしょうか。

全委員

(異議なしとの声)

教育長

それでは、技術・家庭の技術分野については「開隆堂出版」を選定することといたします。

教育長

それでは次に、技術・家庭の家庭分野の説明をお願いします。

学校教育課長

技術・家庭の家庭分野について説明させていただきます。

家庭分野は、3発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「開隆堂出版」を次のような理由で選定することとなりました。

①全体を通して写真が多く、実物大の折り込みページなど、実感を伴った学習ができること、②巻末に「生活の課題と実践」がまとめられていることなど、学びを横断的に生活に生かせる実践例が多く示されており、生活の場で活用できることなどです。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

75ページから77ページには実物大の写真が示されるとともに、72ページから74ページには食品と栄養素の関係から食品までが関連付けて掲載されており、理解しやすい展開となっております。また、生徒が自己の生活を振り返り、学んだことを生活の場でいかせる工夫があります。例えば、59ページなどにありますように、学習のまとめとして「生活に生かそう」という項目があります。また、250ページなどには、実践例が28と多く示され、生徒の「やってみたい、試してみたい」という意欲付けにつなげることができます。

なお、現在使用している教科書は「東京書籍」ですが、ただいまご説明いたしましたような理由から、今回は「開隆堂出版」の教科書が大分市の中学生に最適であるということになりました。

以上でございます。

教育長 家庭分野については「開隆堂出版」が選定されております。確認ですが、技術分野と家庭分野で出版社を同一にする必要はありませんね。

学校教育課長 はい。その必要はございません。

ここで、1点報告ですが、「東京書籍」は版が大きく横広になっており、作業台で広げてしまうと作業がしづらいという報告もあり、今回、「東京書籍」より「開隆堂出版」が適しているとの判断に至っております。

教育長 ありがとうございます。

版が大きければその分見やすいという面もあるかとは思いますが、何かご意見等ございませんか。

委員 見やすさという面では、どれも遜色ないように感じます。

教育長 わかりました。

他に何かご意見等ございませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 特にないようであれば、家庭分野については「開隆堂出版」を選定するというところでよろしいでしょうか。

全委員 (異議なしとの声)

教育長 それでは、技術・家庭の家庭分野については「開隆堂出版」を選定することといたします。

教育長 それでは最後になりますが、英語の説明をお願いします。

学校教育課長 最後に、英語について説明させていただきます。

英語は、6発行者から見本本の送付がございましたので、その全てについての報告を受け、質疑応答及び協議を通じて、最終的に「三省堂」を次のような理由で選定することとなりました。

①入門期の学習に外国語活動を踏まえた配慮があること、②習得と活用の学習がバランスよく配置され、4技能を総合的に育成する工夫があること、③多様な題材を用いて、英語を通して思考力・判断力・表現力を養うような構成になっていることなどが挙げられます。

具体的に教科書をご覧いただきながら説明させていただきます。

1学年の入門期は、小学校外国語活動を踏まえ、音声から入り、徐々に音と文字をつなげる工夫があること、各課の始めには、ねらいと絵や写真が提示され、「聞くこと」から導入されるようになっていることなど、小学校での学習内容と上手く接続ができるように配慮されています。また、各課が習得のGETと活用のUSEで構成されています。また、1学年の後半から、各課でまとまった英文を「読む」構成となっており、発達の段階に応じて、「読む・聞く・書く・話す」の4技能をバランスよく身に付けられるように工夫され

ています。また、2学年の30ページなどにありますように、小笠原諸島の環境問題をはじめ、カンボジアの地雷についてやアメリカの人種差別問題など、国際的で多様な題材を通して、内容を要約したり、お互いの考えを伝え合ったりすることで、思考力・判断力・表現力を深められるよう構成されています。

なお、現在使用しているのは「三省堂」であります。今回もただ今ご説明いたしましたような理由から「三省堂」の教科書が大分市の中学生を指導するのに最適ということになりました。

以上でございます。

教育長 英語については「三省堂」が適しているとのことですが、何かご意見等はありませんか。

全委員 (なしとの声)

教育長 特にないようであれば、小学校の外国語活動との接続についても評価されている「三省堂」を選定するというところでよろしいでしょうか。

全委員 (異議なしとの声)

教育長 それでは、英語については「三省堂」を選定することといたします。

教育長 以上で全ての種目について選定をいたしました。

最後に種目ごとに確認をしたいと思っておりますので、事務局お願いします。

学校教育課長 長時間ありがとうございました。

それでは、再度各種目ごとに読み上げて確認をさせていただきます。

国語は光村図書出版、書写は光村図書出版、地図は帝国書院、社会の地理的分野は教育出版、歴史的分野は東京書籍、公民的分野は東京書籍、数学は数研出版、理科は大日本図書、音楽の一般は教育芸術社、器楽合奏は教育芸術社、美術は日本文教出版、保健体育は学研教育みらい、技術・家庭の技術分野は開隆堂出版、家庭分野は開隆堂出版、英語は三省堂でございます。

教育長 ありがとうございます。

間違いはないでしょうか。

全委員 (なしとの声)

教育長 それでは、引き続き事務局説明をお願いします。

学校教育課長 続きまして、小学校、特別支援学級で使用する教科書について、ご説明申し上げます。

小学校で使用する教科書につきましては、今年度から現行の教科書を使用しております。原則として4年間同一の教科書を採用することとなっておりますことから、現在使用している教科書と同一の教科書を採用しようとするものでございます。

特別支援学級用の教科書の採択につきましては、毎年度採択替えを行っておりますことから、新たに採択をしようとするものでございます。なお、特別支援学級で使用する教科書につきましては、各学校における児童・生徒の実態が異なりますことから、それぞれの学校で実情に適した教科書を選定・使用することとなります。

以上のことにつきまして、ご審議・ご検討のうえ、ご決定をいただこうとするものでございます

教育長
全委員
教育長

ご質問などありませんか

(なしとの声)

それでは採決をいたします。教議第39号について、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

全委員
教育長
教育長
全委員
教育長

(異議なしとの声)

ご異議なしと認め、本案は原案のとおり決定されました。

それでは他に何かありませんか。

(なしとの声)

これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。

(午前 10時 56分 閉会)